

地域と家庭と学校が一つになって子どもを育む…それが“チーム七小”です！



くさぶえ

福生市立福生第七小学校

令和8年度 学校だより

10月号

福生第七小学校

ホームページ

URL

<https://fussa-7e.hs.fussa.school/>



所在地 福生市北田園一丁目1番地1

発行責任者 校長 菅野 恭子

令和8年9月30日 発行

「らしくなる学期」の中で「本当の楽しさ」をより意識して

校長 菅野 恭子

2学期に入り約1か月が経ちました。今年は残暑を感じぬまま、秋の虫の声が聴こえる季節となりました。雨天も多く、子どもたちが室内で過ごす日も続くことがありますが、晴れ日になると校庭で元気よく遊んでいます。この時期でも、校庭や校舎裏の田んぼ周りでは大きなオニヤンマや赤とんぼ、アゲハチョウなどがたくさん飛んでおり、休み時間には虫とり網で虫を捕まえる微笑ましい姿がいたるところで見られます。



「らしくなる学期」の中で「本当の楽しさ」をより意識して

2学期は「らしくなる学期」とも言われます。1学期は、新しい学年・環境で慣れることから始め、2学期はその学年らしく力強く活動する。そして、3学期は次の学年を意識した準備の学期であるという意味です。そして、2学期は運動会や音楽会などの大きな行事や学習面でも「話し合って考えを深める」「考えたことを発表する」ことが多くなってきました。子どもたちにはこのようなことを踏まえ、様々なことに挑戦して、今の自分を一歩も二歩も大きく成長させていこうという話をしました。

そのような中、9月24・25日には、第5学年の名栗自然教室がありました。小学校生活初めての宿泊学習です。係活動や屋外レクリエーション、カレー作りや飯盒炊爨、板材をあぶって表面を磨くフォトフレームやぶんぶんごま作りなどの根気が必要な活動も多くありました。日頃はボタン一つでできるようなことも、友達と力を合わせないとできあがらないという経験を多く体験しました。一人ではくじけそうな状況でも、友達のため、班員のためを思い、最後まで粘り強く取り組んだ姿が大変頼もしく感じました。特に素晴らしかったことは、カレー作りで使った道具の後片付けです。カレー鍋の外側はかまどのすすで真っ黒になるため、すすを落として借りたときのようにきれいに返却するのは至難の技です。しかし、今年の5年生はさすがこびりつきにくいように下準備を丁寧に行うとともに、道具の掃除を丁寧に念入りに行い、ピカピカにして返却をしました。その結果、ほとんどの班が施設管理担当者の返却チェックを一度でクリアしました。私も長年引率をしていますが、初めてのことでした。施設管理の方も驚いたようで、「**返却された用具の美しさ**」と「**返却をするときの礼儀正しさ**」が**大変素晴らしかった**と直接話しに来てくれたほどでした。

5年生は、移動教室で意識することを幾つも心していましたが、その中の「感謝の気持ちをもつ」「感謝の気持ちを表現する」ことや「本当の楽しさを意識する」ことなどについて実践することができました。二日目の帰校式では、一泊二日を乗り切った達成感が表情などから溢れていました。



かまどの炎にとらめっこ



自分たちで作ったカレーは格別



フォトフレームづくり：板材あぶり



フォトフレームづくり：磨き

「らしくなる学期」を意識し、大きな挑戦をとおして、どの学年においても最後まで粘り強く、達成感のある学びを充実させていきます。ご家庭におかれましても、体調管理や励まし等の御協力を引き続きよろしくお願いします。

【学校公開アンケートについて】

9月5日(土)の学校公開アンケートのご協力、ありがとうございました。今回のアンケートは、formsまたは用紙での回答形式にしたところ、**回答数が何と例年の8倍以上**となりました！授業やセーフティ教室の感想、セーフティ教室情報交換会についての案などもお寄せいただきありがとうございました。校内で共有し、次回の参考にしています。

東京都では、道徳授業地区公開講座やセーフティ教室等、授業参観の他に家庭教育の充実の観点から保護者の方々が生活安全や道徳教育について話せる機会を設定しています。**本校では、教員が進行・発表を行いますので、ぜひお気軽に参加ください。**